2015年度

特定非営利活動法人　山陰MORE

事業報告書

概　　　　　　　　　要

2012年7月6日に任意団体から特定非営利活動法人として法人格を取得し、山陰におけるまちづくり、その他の地域発展を目的とする事業の健全な実施及びボランティア活動の活性化により、山陰が子どもから高齢者まで住みよい地域になることを目的とした活動を実施してきた。

１．法人運営基盤整備事業

（１）会員（会費）及び寄付金の状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 種別 | 会費単位（年会費） | 件数 | 合計 |
| 特別会員（会費） | 2,000円 | ６ | 12,000 |
| 一般会員（会費） | 1,000円 | 1 | 1,000 |
| 寄付金 | - | 16 | 203,000 |
| 合計 |  |  | 216,000 |

（２）理事会、正副理事長会、総会、監査会の開催

　①理事会

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 開催日 | 出席者 | 会場 | 付議案件 |
| 2015/5/1 | 8 | 事務所 | １．事業報告決算報告２．事業計画予算審議 |
| 2015/12/28 | 9 | 事務所 | １．今年度事業中間報告について２．2016年度事業について |

　②正副理事長会（実施していない）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 開催日 | 出席者 | 会場 | 付議案件 |
|  |  |  |  |

　③総会

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 開催日 | 出席者 | 会場 | 付議案件 |
| 2015/5/1 | 8 | 事務所 | １．事業報告決算報告２．事業計画予算審議 |

　④監査会

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 開催日 | 出席者 | 会場 | 付議案件 |
| 2015/4/11 | 4 | 事務所 | １．事業内容・会計監査 |

（３）広報活動

　Facebookやカンパンブログ、新聞等により活動の広報を行った。

２．ボランティア活動の推進を図る活動

（１）5種混合収集・作成ボランティア活動

　①エコキャップ収集ボランティア

ペットボトルのキャップを収集・分別・洗浄し特定非営利活動法人エコキャップ推進協会へ送ることにより、「世界の子どものワクチン、CO2削減、東日本大震災の義援金」に役立てられるよう活動を実施した。

②雑巾・足ふきマット作成配分活動

　古タオルを収集し雑巾や足ふきマットに縫い替え必要な施設・学校・などへ寄贈する活動で、子どもたちや地元の方たちと一緒に行い、「リサイクル・CO2削減」などについても考えながら作成した。

③古着収集活動

古着を収集しそれを換金しボランティア活動の資金として活用した。同時に「リサイクル、リユース、CO2削減」に貢献することもできた。

　④古本収集活動

　　古本を収集し、『NPO法人　プロジェクトゆうあい』へ寄付することにより、障害を持った方の就労支援活動の一部を担うことができた。

　⑤フードループス事業

　　フードバンク事業の一環として、名称を「フードループス事業」と名付け、芙蓉の食品や食材を寄付いただき、それを必要としている方への配分を行った。

３．青少年健全育成支援事業

（１）ベンチャーキッズスクールの開催

　島根県、島根県信用保証協会の補助により「ベンチャーキッズスクール」を開催した。この事業は子どもの健全育成と、将来の地域を担う子どもたちは地域で育てるという視点にたち、次世代を担う児童生徒を対象に、起業家精神を養うことを目的とし実施した。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 開催日 | 参加者 | 会場 | 内　　　　　容 |
| 8/2 | 31 | スティック | ・起業家の将来設計の考え方を知ろう！・ショップを開くには？ |
| 8/23 | 38 | スティック | ・パティシエ、抹茶、フォトグラファー、農園各コースでのワークショップ・パソコン教室 |
| 9/27 | 32 | スティック | ・販売に向けて集客を学ぼう！・パティシエ、抹茶、フォトグラファー、農園各コースでのワークショップ |
| 10/11 | 34 | スティック | ・パティシエ、抹茶、フォトグラファー、農園各コースでのワークショップ・出店準備 |
| 10/18 | 39 | ローソン中原店 | ・販売会 |
| 11/1 | 36 | スティック | ・販売会の収益計算・閉校式 |

（２）農園体験活動活動

　最近の子どもたちは、学校の一部の活動以外では、あまり土に触れる機会がなく、家の人と一緒に野菜を育てるという経験をする子がほとんどいないという現状がある。そこで、子どもたちに自分で野菜を育て食する喜びを味わわせるとともに野菜ソムリエを講師に野菜の重要性について勉強する機会を設けた。

（３）見守り塾の実施（モバイル・コミュニケーション・ファンド助成事業）

　ひとり親や、家庭学習に不安がある子ども（小学生）に対し、学習の場を提供し、分からない問題等については、中高生が講師となり指導を行った。（毎月第２・４月曜日）

４．環境保全整備事業（自然環境保護財団助成事業）

　ボランティア活動の一環として国立公園である島根町の桂島の海岸清掃および遊歩道整備を年間３回行った。

５．就職支援事業

　再就職や転職を検討している方に対して、面接の受け方や応募書類の書き方等についてん助言や、応募先の事業所情報等についてわかる範囲で情報提供を行った。